

病態制御医学講座 救急医学

1. 領域構成教職員・在職期間

教授	林 寛之	平成23年4月ー現職
准教授	木村 哲也	平成23年4月ー現職
講師	小淵 岳恒	平成12年5月ー平成14年3月、平成17年4月ー（平成28年4月ー現職）
助教	森田 浩史	平成23年4月ー平成25年6月、平成26年4月ー現職
助教	川野 貴久	平成30年4月ー現職
助教	山田 直樹	平成25年4月ー現職
助教	山中 俊祐	平成29年10月ー現職
特命助教	神川 洋平	平成31年4月ー現職
特命助教	辻 英明	平成28年4月ー現職
特命助教	石本 貴美	令和3年4月ー現職
病院助教	田下 大輔	令和2年4月ー現職
病院助教	秦 龍彦	令和2年4月ー現職
病院助教	泉 玲央	令和7年3月退職
特命助教	笠松 真吾	令和2年4月ー現職
助教	田中 徳治	令和3年4月ー現職
特命助教	伊藤 有紀子	令和2年4月ー現職
特命助教	大濱 弘光	令和4年4月ー現職

2. 研究概要

研究概要

- ①ER型救急体制の構築
②ERにおける医学生、初期研修医、後期（専門）研修医の教育
③ER診療における医療安全
④診療所総合医（家庭医）、病院総合医（総合内科医）の養成プログラム
⑤緊急被ばく医療に強い救急総合医養成プログラムの開発
⑥救急医療情報伝送システムの開発…全国でも類をみないものである。令和5年4月1日付けで高度被ばく医療支援センターの指定を受け、更なる高度人材育成に取り組んでいる。
⑦災害時医療における疫学調査
⑧ERにおけるAIの活用

キーワード

ER型救急、ERにおける教育、総合医、緊急被ばく医療、救急情報伝送システム

業績年の進捗状況

特色等

- ①救急部と総合診療部の合体運営によるER型診療の24時間4交代勤務体制の確立は、全国の大学病院での先駆けであり、全国のモデルとして広がり、現在では国公立大学の半数以上がER型救急体制を開始するに至った。
②卒後臨床研修の必修化において最重要課題であった「専門外の救急へも対応できる医師の養成」においては、ER型救急体制のもとでの研修が最も大きな効果を生むものであり、また、初期研修医の確保においても病院の発展性に大きな貢献ができています。
③ERにおける診療の医事紛争の増加が懸念される時代にあつて、ER型救急医の経験症例の広報、啓蒙活動（講演、著書改訂、教育セミナー）は他施設での医療過誤防止につながる役割を果たしている。
④ER型救急医の養成施設が少ない我が国では、本院の「ERに強い救急医養成コース」は他施設のモデルとなり、同様のER型救急医養成の後期研修を取り入れる施設が全国で増えている。
⑤家庭医の養成コースは全国的に始まりつつあるが、本院の救急部と総合診療部が合体して立ち上げた「救急に強い家庭医」養成研修は、全国でも類を見ないものとなり、県内の総合診療医養成に大きく貢献できている。
⑥原子力発電所が全国で最も多い本県にあつて、緊急被ばく医療体制の構築にER型救急医が取り組んでいることは全国でも類をみないものである。
⑦救急隊から病院への、クラウドコンピューティングを利用した救急情報伝送システムを開発し、県内複数消防と病院間に配備した。特に急性心筋梗塞患者の治療成績向上につながる事が期待されている。""

本学の理念との関係

救急部、総合診療部の一体化によ救急外来の診療、教育体制の検討は、プライマリケアに強い医師養成の教育の確立につながり、救急外来における医療過誤防止のための診療、教育体制の検討は全人的な患者本位の診療の可能な医師養成につながる。全国有数の原発立地地域である福井県における、緊急被ばく医療体制構築・人材育成は、地域に根ざした貢献度の高い医療教育機関としての福井大学の役割を果たすものである。

3. 研究実績

区分		編数		インパクトファクター（うち原著のみ）	
		2018～2023年分	2024年分	2018～2023年分	2024年分
和文原著論文	ファーストオーサー	1	1	—	—
	コレスポンデンス・オーサー	6	2	14.173(14.173)	4.7(4.7)
英文論文	コレスポンデンス・オーサー	4	2	10.62(10.62)	5.1(5.1)
	その他	15	7	45.613(45.613)	15.5(15.5)
	合計	21	10	59.786(59.786)	22.1(22.1)

(A) 著書・論文等

(1) 英文：著書等

a. 著書

b. 著書（分担執筆）

c. 編集・編集・監修

(2) 英文：論文等

a. 原著論文（審査有）

2453061

Hiromasa Tsubouchi , Hidenori Onishi , Koji Maeno , Masaya Nakagaichi , Ikue Tsukushi , Youichi Kitano , Yoshitaka Makino , Hiroyuki Hayashi , Hidekazu Terasawa , Hiroko Kabuto , Toshihiro Misawa , Taku Sanada , Azusa Hisada , Kazuo Notsumata , Kazuhiro Okafuji , Osamu Yamamura: Study of Risk Factors and Image Findings of Isolated Abdominal Incidentally Detected Aortic Dissection, Journal of Clinical Ultrasound, 53(3), 429-435, 202503, DOI: 10.1002/jcu.23889, #1.2

2453062

Yohei Kamikawa,Hiroyuki Hayashi,Jeffery N. Bone,Ran D. Goldman: Characteristics of a revised quick sequential organ failure assessment score(RqSOFA)to predict in-hospital mortality of patients visiting the emergency department via ambulance:an observational cohort study, Internal and Emaergency Medicine, Online ahead of print, 20241205, DOI: 10.1007/s11739-024-03833-y, #3.2

2453063

R. Ii, E. Noguchi, N. Adachi, M. Kidoguchi, T. Nakamura, H. Miyamoto, Y. Nishihama, A. Nomura, J. Takahata, Y. Kimura, M. Okamoto, Y. Hirose, S. Tanaka, S. Fujieda, A. Matsubara, K. Tabuchi: Characterization of microbial diversity and eosinophilic otitis media biomarkers using next-generation sequencing, Auris Nasus Larynx, 51(6), 1073-1080, 20241201, DOI: 10.1016/j.anl.2024.10.012, #1.6

- 2453064** Murayama K, Tanaka T, Ishimoto T, Onishi H, Hayashi H, Yamamura O: A case of portal vein gas due to accidental ingestion of hydrogen peroxide: the importance of performing ultrasound examinations over time, Journal of Medical Ultrasonics, 51(4), 673-674, 202410, DOI: 10.1007/s10396-024-01474-4 (症例報告), #1.9
- 2453065** Tokuharu Tanaka, Hidenori Onishi, Masaki Kiyono, Yuki Miyazaki, Azusa Tanaka, Akihiko Tanizawa, Tadanori Hamano, Hiroyuki Hayashi, Koji Kobayashi, Osamu Yamamura: Does the Number of Turns during Sleep Have Utility in the Early Detection of Parkinson's Disease and Its Related Disorders?, JMA Journal, 7(4), 553-561, 202410, DOI: 10.31662/jmaj.2023-0204, #1.5
- 2453066** Justin Yap, Jacob Hutton, Marina Del Rios, Frank Scheuermeyer, Malini Nair, Laiba Khan, Emad Awad, Takahisa Kawano, Valerie Mok, Jim Christenson, Brian Grunau: The relationship between race and emergency medical services resuscitation intensity for refractory-arrest, Resuscitation PLUS, 20, 100806, 20241025, DOI: 10.1016/j.resplu.2024.100806, #2.1
- 2453067** Kishimoto T, Onishi H, Tsubouchi H, Mizukami Y, Kubota M, Ikeda R, Konoshita N, Tanaka T, Kobayashi K, Hayashi H, Yamamura O.: Association between upper limb muscle quality and knee osteoarthritis in dynapenia: an observational cross-sectional study, Journal of Clinical Biochemistry and Nutrition, 75(2), 145-152, 202409, DOI: 10.3164/jcbrn.24-58, #2
- 2453068** Kazuki T, Hidenori O, Hiromasa T, Yasutaka M, Takahiro K, Tokuharu T, Naohiro K, Hiroyuki H, Osamu Y: Sarcopenia and triglycerides/high-density lipoprotein cholesterol ratio in older Japanese adults, Asian Journal of Gerontology and Geriatrics, 19(1), 15-20, 20240619, DOI: 10.12809/ajgg-2023-610-0a.
- 2453069** Mok v, Brebner C, Yap j, Asamoah-Boaheng M, Hutton j, Haines M, Scheuermeyer F, Kawano takahisa: Non-prescription drug-associated out-of-hospital cardiac arrest: Changes in incidence over time and the odds of receiving resuscitation, Resuscitation, 195, 110107, 202402, DOI: 10.1016/j.resuscitation.2023.110107, #6.5
- 2453070** Khan L, Kawano T, Hutton J, Asamoah-Boaheng M, Scheuermeyer FX, Christian M, Baranowski L, Barbic D, Christenson J, Grunau B: The association of extreme environmental heat with incidence and outcomes of out-of-hospital cardiac arrest in British Columbia : A time series analysis analu, Resuscitation PLUS, 17, 100560, 202402, DOI: 10.1016/j.resplu.2024.100560, #2.1
- b. 原著論文 (審査無)
- c. 原著論文 (総説)
- d. その他研究等実績 (報告書を含む)
- e. 国際会議論文
- (3) 和文: 著書等
- a. 著書
- b. 著書 (分担執筆)
- c. 編集・編集・監修
- (4) 和文: 論文等
- a. 原著論文 (審査有)
- 2453071** 新井田裕樹, 大西秀典, 水上保孝, 久保田雅史, 此下尚寛, 田中徳治, 竹部万由, 川村晴水, 岡本智子, 柑本明美, 坪内啓正, 前田文江, 木戸口周平, 林寛之, 山村修: 地域高齢者のダイナペニアにおける1日の平均歩数の関連, 福井大学医学部研究雑誌, 25, 1-10, 202503, DOI: 10.34463/0002000358
- b. 原著論文 (審査無)
- c. 総説
- d. その他研究等実績 (報告書を含む)
- 2453072** 林 寛之: Step Beyond Resident(第252回) 研修医は読まないで下さい!? 急性呼吸困難Part1, レジデントノート, 27(1), 133-145, 20250401
- 2453073** 林 寛之: Step Beyond Resident(第251回) 研修医は読まないで下さい!? 急性呼吸困難Part1, レジデントノート, 26(18), 3297-3307, 20250301
- 2453074** 林 寛之: Step Beyond Resident(第250回) 研修医は読まないで下さい!? こんな痛みに要注意Part2, レジデントノート, 26(16), 2949-2957, 20250201
- 2453075** 林 寛之: Step Beyond Resident(第249回) 研修医は読まないで下さい!? こんな痛みに要注意Part1, レジデントノート, 26(15), 2805-2813, 20250101
- 2453076** 林 寛之: Step Beyond Resident(第247回) 研修医は読まないで下さい!? 高齢者救急の妙Part6~NSAIDsとPPIには特に注意!~, レジデントノート, 26(12), 2259-2273, 20241101
- 2453077** 林 寛之: Step Beyond Resident(第246回) 研修医は読まないで下さい!? 高齢者救急の妙Part5~一度は疑おう, 薬剤の影響~, レジデントノート, 26(10), 1795-1805, 20241001
- 2453078** 笠松 眞吾, 森田 浩史, 宇随 弘泰, 木村 哲也: クラウド救急医療連携システムで実現する複数機種の除細動器から12誘導心電図と画像の伝送, ICUとCCU (集中治療医学), 48(8), 486-488, 20240810
- 2453079** 林 寛之: Step Beyond Resident(第245回) 研修医は読まないで下さい!? 高齢者救急の妙Part4~尿が濁っていたら尿路感染症ということで~, レジデントノート, 26(7), 1251-1260, 20240801
- 2453080** 林 寛之: Step Beyond Resident(第244回) 研修医は読まないで下さい!? 高齢者救急の妙Part3~高齢者の肺炎はこうしてやってくる~, レジデントノート, 26(6), 1109-1118, 20240701
- 2453081** 林 寛之: Step Beyond Resident(第243回) 研修医は読まないで下さい!? 高齢者救急の妙Part2~高齢者感染症は非典型例が典型例と知れ, レジデントノート, 26(4), 715-723, 20240601
- 2453082** 林 寛之: Step Beyond Resident(第242回) 研修医は読まないで下さい!? 高齢者救急の妙Part1~不定愁訴 (非特異的主訴) に強くなる, レジデントノート, 26(3), 551-565, 20240501
- e. 国際会議論文
- (B) 学会発表等
- (1) 国際学会
- a. 招待・特別講演等
- b. シンポジスト・パネリスト等

- c. 一般講演（口演）
- d. 一般講演（ポスター）
- e. 一般講演
- f. その他

(2) 国内学会（全国レベル）

a. 招待・特別講演等

b. シンポジスト・パネリスト等

2453083 小淵岳恒：「激アツ！症例検討会」～それって何科の疾患？～，日本超音波医学会第97回学術集会，横浜市，20240531

c. 一般講演（口演）

2453084

神川洋平：救急搬送患者の院内死亡を予測するバイタルサインを用いた新スコアRevised qSOFA(RqSOFA)の有用性：後方視観察研究，第52回日本救急医学会，仙台，20241013

2453085

山村真佐子・林寛之：プライマリ・ケアにおける不眠治療と認知行動療法導入の障壁と課題，第15回日本プライマリ・ケア連合学会学術集会，浜松市，202406

d. 一般講演（ポスター）

2453086

小淵岳恒・比嘉航・石本貴美・林寛之：失神症状を繰り返した70歳代男性尿管癌・膀胱癌患者の一例，第52回日本救急医学会，仙台，20241013

2453087

田中徳治・村山公介・大濱弘光・伊藤有紀子・武藤理・山村真佐子・小淵岳恒・木村哲也・林寛之：「TVを観ていたら突然二重に見えだしました！」眼疾患だと思って帰したら実は両側中脳梗塞だった一例，第15回日本プライマリ・ケア連合学会学術集会，浜松市，202406

2453088

西川佳奈・石本貴美・林寛之：硫酸ジメチルによるガス中毒症の2例，第52回日本救急医学会，仙台，20241013

2453089

石本貴美・小淵岳恒・林寛之：胸腔ドレーン挿入を体験するVR教育コンテンツの開発-医学生教育の進化-，第27回日本救急医学会 中部地方学術集会，仙台，202412

2453090

秦龍彦：中毒3，第52回日本救急医学会，仙台，20241013

2453091

林寛之：福井×子ども×医療 大学生による医師体験教室，第15回日本プライマリ・ケア連合学会学術集会，浜松市，202406

e. 一般講演

2453092

林寛之：ERと中毒 ピットフォールを中心に，第46回日本中毒学会総会・学術集会，神戸，202407

2453093

林寛之：救急専攻医必見！ERサバイバルの極意7ヶ条～Tips&Pitfalls!，第52回日本救急医学会・学術集会，仙台，202410

2453094

林寛之：高齢者救急のTips&Pitfalls，第15回日本プライマリ・ケア連合学会学術集会，浜松市，20240608

f. その他

2453095

大濱弘光・林寛之・伊藤有紀子・武藤理・山村真佐子・田中徳治・村山公介：インタラクティブセッション13「あいまいな めまい診療じゃいまいちよ 目指せ！あなたも めまいマスター！」，第15回日本プライマリ・ケア連合学会学術集会，浜松市，20240608

2453096

秦龍彦：過去13年間における救急気道管理の手法と初回成功率の変化：JEANレジストリを用いて，第52回日本集中治療医学学術集会，福岡市，20240315

2453097

林寛之：救急科領域講習，第52回日本救急医学会・学術集会，仙台，20241013

2453098

林寛之：目指すは高い自立性と教育力の断らない草食系ER医，第52回日本救急医学会・学術集会，仙台，202410

2453099

林寛之：腹部救急のピットフォール その1，第52回日本救急医学会・学術集会，仙台，202410

2453100

林寛之：総合診療部とのコラボレーションによる救急医の育成，第52回日本救急医学会・学術集会，仙台，202410

2453101

林寛之：DrGの知って得するCTのピットフォール-安易に腸炎・便秘と診断していないか？-，第61回日本腹部救急医学総会，202503

(3) 国内学会（地方レベル）

a. 招待・特別講演等

b. シンポジスト・パネリスト等

c. 一般講演（口演）

d. 一般講演（ポスター）

e. 一般講演

業績一覧

- 2453102 林寛之：ERの過去・現在・未来，第27回日本救急医学会 中部地方会学術集会，福井市，20241206
- 2453103 林寛之：Step Beyond ACLS，第93回北陸支部生涯教育講演会，福井市，20240908
- 2453104 林寛之：ERでのピットフォール，第27回日本救急医学会 中部地方会学術集会，20241206
- 2453105 林寛之：救急のプロフェッショナリズム～人材育成～，第129回近畿救急医学研究会，米原市，20250320

f. その他

(4) その他の研究会・集会

a. 招待・特別講演等

- 2453106 林寛之：学習講演会，坂総合病院 研修医教育企画・学習講演会，塩釜市，20241012
- 2453107 林寛之：冷静な対応が命を救う！暴言・暴力の対処法，暴力追放福井県民大会，坂井市，20241107
- 2453108 林寛之：「小児救急診療」，臨床研修指導体制強化事業（石川県医師会），金沢市，20250118
- 2453109 林寛之：臨床が楽しくなる漢方治療，福井県臨床研修医のためのKAMPOセミナー，福井市，20250304
- 2453110 林寛之：「実践に役立つ救急症例講座」，AInylam Web Seminar，20241205
- 2453111 林寛之：「腹痛救急のTips&Pitfalls」，福井赤十字病院とk別講演，福岡市，20240523
- 2453112 林寛之：「ERの世界」，令和6年第2回サイエンスAGORA「医学部分野」（福井県立藤島高等学校），福井市，20240708
- 2453113 林寛之：「こんなに使える救急漢方」，北海道Kompo Network Seminar，帯広市，20240718

b. シンポジスト・パネリスト等

c. 一般講演（口演）

d. 一般講演（ポスター）

e. 一般講演

- 2453114 小淵岳恒：「医師でも間違える病気・けが・薬の常識」，令和6年度福井ライフ・アカデミー共催講座，福井市，20240907
- 2453115 森田浩史：当院救急外来における脳卒中診察の流れ，脳卒中治療連携セミナー～救急対応から慢性期ふいおローまで～，福井市，20240718
- 2453116 山田直樹：「学校現場における救急処置について」，令和6年度福井県養護教諭研究会 冬季研修会，坂井市，20250221
- 2453117 小淵岳恒：救急外来で使える超音波アップデート，第129回近畿救急医学研究会，202503

f. その他

- 2453118 林寛之：臨床推論と漢方薬，「地域医療×総合診療」Kompo Base Up Seminar，20240905
- 2453119 林寛之：こども仕事体験フェスタ，こども仕事体験フェスタin福井，福井市，20250316

(C) 特許等

区分	内容（発明の名称）	発明者又は考案者
----	-----------	----------

(D) その他業績

4. グラント取得

(A) 科研費・研究助成金等

区分	プロジェクト名	研究課題名	代表者名	分担者名	研究期間	金額（配分額）
文部科学省科学研究費補助金	基盤研究 (C)	メタボに固執した特定健診からの脱却：real world dataを用いたAIによる評価法の創出	川野 貴久	関 倫久	20240401-20270331	¥2,990,000
文部科学省科学研究費補助金	基盤研究 (C)	メタボに固執した特定健診からの脱却：real world dataを用いたAIによる評価法の創出	川野 貴久	関 倫久	20240401-20270331	¥2,990,000

業績一覧

文部科学省科学研究費補助金	若手研究	SpO2波形の人工知能を介した分析による包括的肺炎診断・予後予測モデルの構築	山中 俊祐		20210401-20250331	¥0
---------------	------	--	-------	--	-------------------	----

区分	機関名	課題名	研究者名	研究期間	契約金額
----	-----	-----	------	------	------

区分	機関名	課題名	研究者名	研究期間	契約金額
----	-----	-----	------	------	------

(B) 奨学寄附金

受入件数	0
受入金額	¥0

5. その他の研究関連活動

(A) 学会開催等

区分	主催・共催の別	学会名	開催日	開催地
----	---------	-----	-----	-----

(B) 学会の実績

学会の名称	役職	氏名
日本胸部外科学会	一般会員	木村 哲也
日本血管外科学会	一般会員	木村 哲也
日本循環器学会	一般会員	木村 哲也
日本心臓血管外科学会	一般会員	木村 哲也
日本プライマリ・ケア連合学会	一般会員	伊藤 有紀子
日本内科学会	一般会員	伊藤 有紀子
日本救急医学会	一般会員	木村 哲也
日本老年学会	一般会員	伊藤 有紀子
日本外科学会	一般会員	木村 哲也
日本外傷学会	一般会員	林 寛之
日本プライマリケア連合学会	一般会員	伊藤 有紀子
日本プライマリケア連合学会	一般会員	林 寛之
日本救急医学会	一般会員	林 寛之
日本内科学会	一般会員	林 寛之
日本中毒学会	一般会員	林 寛之
病院総合診療医学会	一般会員	伊藤 有紀子
日本消化器内視鏡学会	一般会員	伊藤 有紀子
日本糖尿病学会	一般会員	伊藤 有紀子

(C) 座長

国内学会 (全国レベル)	学会名	氏名
その他	日本超音波学会第97回学術集会	小淵 岳恒
その他	第16回日本ポイントオブケア超音波学会学術集会	小淵岳恒
その他	第52回日本救急医学会学術集会	田下 大輔
一般講演	第27回日本救急医学会中部地方会総会・学術集会	田下 大輔
一般講演	第30回日本災害医学会総会・学術集会記念大会	森田 浩史
一般講演	第30回日本災害医学会総会・学術集会記念大会	森田 浩史

(D) 学術雑誌等の編集

学術雑誌等の名称	査読・編集	委員長（主査）・委員の別	氏名	査読編数
----------	-------	--------------	----	------

(E) その他

6. 産業・社会への貢献

(A) 国・地域等への貢献

(1) 審議会・委員会・公益法人・会社等への参加状況

区分	機関の名称等	委員会の名称等・役割	氏名	期間
----	--------	------------	----	----

(2) 社会人等への貢献及び学校等との連携・協力による活動

区分	活動名・活動内容	主催者・対象者等	氏名
----	----------	----------	----

(B) 国際貢献

国際協力事業	活動名・活動内容	氏名	相手方機関名	役割	期間	活動国名
--------	----------	----	--------	----	----	------

(C) その他業績

(D) 特記事項